

男性の育児休暇取得促進事業【府中市】

個別事業費	395 千円
交付金額	197 千円

地域の実情と課題

固定的な性別役割分担意識や、少子化・労働力人口等の社会的課題の解消にもつながる男性育休の推進に積極的に取り組む必要がある。

目的・目標

実際に長期の育児休暇を取得したインフルエンサーの講演会を実施することで、産後直後の母子のケアや子育ての実情などをより身近なものとしてとらえてもらう。また、父親の育児・家事参画のためのワークショップを開催し、具体的なスキルアップを図る。
数値目標:参加者 各30人(令和7年度まで)

事業の特徴

【講演会】
実際に育休を取得した方の実体験を話すことで、共感度の高い内容の講演内容を提供。

【ワークショップ】
・男性(パパ)が参加しやすいよう、親子体験型の企画中心に事業を実施。
・「パパ同士がつながる場がない」との市民の声から、パパ同士がつながりやすいよう連続講座を実施。

連携団体

近隣自治体

事業の効果

【講演会】
・参加者の83.3%が実施内容に対し「大変良かった」と回答。
・参加者数 109人

【ワークショップ】
・パパ同士の交流、情報共有の場となった。
・参加者数 延50人

今後の課題

引き続き、男性育休に対して雇用者はもちろん、当事者や同僚の意識啓発をする必要がある。

事業の概要

★講演会

【手法】講演会実施（オンライン同時開催）

【対象】市内、近隣市町村在住の父親

【個別事業名】男性の育児休暇取得促進事業

【事業概要】これから出産を控えている男性や、実際に子どもがいる父親に対し、講演会を通して男性の育児休暇の取得の有用性をPRする。また、実際の家事育児のスキルアップとなるようなワークショップを開催することで、男性の家事育児への参画に対する意識啓発を行う。より多くの男性が参加しやすくするために、講演会等は同時にオンラインでも開催する。

★ワークショップ

【手法】ワークショップ実施

【対象】市内在住の父親と子

【個別事業名】男性の育児休暇取得促進事業

【事業概要】親子参加型のワークショップを開催し、男性（パパ）も参加しやすい企画を連続講座にて実施。季節に合わせた企画（アウトドア教室、救命救護教室、お菓子作り、工作など）により、思い出作りができることはもちろん、連続講座とすることでパパ同士のつながる場づくりにもなった。